

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	2-2-3		事業名	ものづくり産業活性化支援事業
担当	経済局産業振興部ものづくり支援担当課 岩間 TEL211-2362			
全 体 計 画				
事業内容	市内ものづくり産業(製造業)の競争力及び成長性を高め、本市経済の活性化に寄与することを目的として、市内中小製造業者又は企業グループ、組合等に対して、以下の経費を補助する(補助率2分の1)。 ①「新製品開発・既製品改良に関する事業」 新製品・新技術の研究開発又は既製品の改良による高付加価値化に要する経費 ②「ネットワーク構築・推進に関する事業」 他の企業、研究機関及び支援機関等との新たなネットワークの構築又は既存のネットワークの推進を図るための、研修・講習会、研究会の開催、展示会への共同出展等に要する経費 ③「人材育成・確保に関する事業」 人材の育成及び確保を図るための、先進的企業等への従業員派遣、外部専門家等による社内研修の開催又は先進的企業等に従事経験のある技術者の新規雇用に要する経費		＜年度別の事業内容＞	
			19年度…①「新製品開発・既製品改良に関する事業」4件、②「ネットワーク構築・推進に関する事業」2件、③「人材育成・確保に関する事業」2件の計8件の補助を計画。 20年度…19年度からの新規事業であるが、企業等からの申請・問い合わせが予想以上であったため、製造業支援の重要性も考慮して予算を増額し、補助件数を①～③の事業につき各1件程度ずつ増加して実施予定。 21、22年度…20年度と同様の内容で実施予定。	
事業内容・量・場・所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	①「新製品開発・既製品改良に関する事業」 7件の申請があり、外部審査会での審査結果を踏まえて6件(「チップ自動整列機の開発」、「雪氷利用輸送システムの開発」、「PP(ポリプロピレン)製パッケージの開発」、「粗製グリセリンを主燃料とする温水ボイラーの開発」、「ユニバーサルソファの開発」、「フェリー乗船中でもデータ通信が可能な保冷車の輸送品質管理システム」)の事業を採択し、実施した。 ②「ネットワーク構築・推進に関する事業」 2件の事業を実施した。 ③「人材育成・確保に関する事業」 2件の事業を実施した。		①「新製品開発・既製品改良に関する事業」 14件の申請があり、外部審査会での審査結果を踏まえて7件(「タッチパネル式コンピュータのプラットフォーム開発」、「パルスレーザーを用いたSiC(シリコンカーバイド)基盤用レーザースクライブ技術の開発」、「電気式人工喉頭の多機能化技術開発」、「発泡スチロール箱専用シールはがし機の開発」、「シンプルな文字表示と応答機能を有するネットワーク端末装置の開発」、「高齢者・障がい者の為の車いす移乗補助装置の開発」、「ホテル・旅館の客室向け空気清浄装置『すいえんくん』の改良開発」)の事業を採択し、実施した。 ②「ネットワーク構築・推進に関する事業」 3件の事業を実施した。 ③「人材育成・確保に関する事業」 1件の事業を実施した。	
	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)	
	①「新製品開発・既製品改良に関する事業」 9件の申請があり、外部審査会での審査結果を踏まえて9件(「粉体供給機の改良」、「北海道産食材を利用した天然素材の基礎化粧品開発」、「筋肉トレーニング・リハビリ支援装置の開発」、「市販ペンに装着できるコロナカウンタの開発」、「根菜類貯蔵用照射器具の開発」、「PC・カメラ一体型カート開発事業」、「カメラ映像のデータ量自動調節デバイスの開発」、「アルバムカレンダー『デコカレ』の開発」、「札幌発のシニア用三輪車『サンダス』の開発」)の事業を採択し、実施した。 ②「ネットワーク構築・推進に関する事業」 3件の事業を実施した。 ③「人材育成・確保に関する事業」 該当なし(1件申請あったが要件に合致せず辞退)。		①の事業は前年と同規模で、②、③の事業は実績に合わせて各2件で実施する。 ①「新製品開発・既製品改良に関する事業」 7件の事業を実施予定。 ②「ネットワーク構築・推進に関する事業」 2件の事業を実施予定。 ③「人材育成・確保に関する事業」 2件の事業を実施予定。	

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	2-2-3		事業名	ものづくり産業活性化支援事業		
達成目標の状況						
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (実績)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
「新製品開発・既製品改良」補助件数(累計)	-	6件	13件	22件	29件	16件
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)						
<p>■市民との連携、市民参加 (該当なし)</p> <p>■企業等との連携・協働          [資金協力]本事業の補助により、外需を取り込める自社製品の開発・高付加価値化、経営資源を相互に補完するネットワークの構築・推進及び人材の育成・確保に向けた取り組みが促進される。          [人材協力]外部審査会において、事業の改善点等についての助言も実施している。          [情報協力]事業の公募や採択結果について、ホームページでの周知のほか、各種会合での説明を行い、情報の共有に努めている。          [その他の協力](該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり          既製品の改良や企業間ネットワークの構築段階での取り組み、社内研修の開催についても補助対象とすることで、企業が利用しやすい事業となっている。事業の募集に当たっては、各種団体のホームページやメールマガジン等も活用し、広く企業に周知している。</p>						
評価(成果)			課題			
<p>本事業により、新たな事業にチャレンジする市内製造業者に対する支援を行うことで、外需を取り込める自社製品の開発・高付加価値化、経営資源を相互に補完するネットワークの構築・推進及び人材の育成・確保に向けた取り組みが促進される。</p> <p>①「新製品開発・既製品改良に関する事業」では、当初の目標件数の4件/年に対して、平成19年度6件、20年度7件、21年度9件とそれぞれ目標を上回る件数を実施することができ、本市の経済活性化に重要な役割を持つ製造業の競争力強化と成長性向上に寄与した。</p>			<p>市内製造業者の新たな事業へのチャレンジを促進し、市内経済を活性化させるため、事業の募集及び実施事業の成果について、より効果的なPRが必要である。</p> <p>また、市内製造業者においては、営業力・販売力の強化が課題となっており、事業成果がビジネスとして成功するまでの体系的な支援が必要である。</p>			
今後の事業の予定・方向						
<p>平成22年度は、①の事業については21年度と同規模で事業を実施予定。また、企業ニーズを反映し、実施要綱、交付要領を改正して、対象範囲を拡大する。今後とも、より効果の高い事業となるよう、事業内容の拡充を検討していく。</p>						

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		2-2-3			事業名	ものづくり産業活性化支援事業		
事業費の推移								
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計		
計画	事業費	10,500	11,000	10,500	11,000	43,000		
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0	
		市の債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	10,500	11,000	10,500	11,000	43,000	
予算	事業費	10,500	13,500	17,850	16,850	58,700		
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0	
		市の債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		一般財源	10,500	13,500	17,850	16,850	58,700	
実績	事業費	8,177	12,446	14,666	—	35,289		
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0		0	
		市の債	0	0	0		0	
		その他	0	0	0		0	
		一般財源	8,177	12,446	14,666		35,289	
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)					121.3%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)								
《全体》								
[19年度]補助事業の実施段階で経費節減に努め当初予算に満たなかった事業もあり、決算額が予算額を下回った。								
[20年度]申請・問い合わせの件数と製造業支援の重要性を考慮し、当初計画よりも規模を拡大して事業を実施した。								
[21年度]申請・問い合わせの件数と製造業支援の重要性を考慮し、20年度よりもさらに規模を拡大して事業を実施した。								
[22年度]事業については、21年度と同規模で実施予定。また、実施要綱、交付要領を改正し、対象範囲を拡大する。								